

ヨドバシフジサワカメラミュージアム

—世界最大級のカメラミュージアムのギャラリートーク付き鑑賞会—

- 展示内容**・ヨドバシカメラの創業者である藤沢昭和（フジサワ テルカズ）氏が50年以上かけて蒐集したコレクションを中心に展示。
- ・世界各国の歴史的・希少なカメラ約1,500点を収蔵・展示しており、特に**ライカ（Leica）**の貴重なモデルが充実しています。
 - ・展示はカメラ本体だけでなく、周辺機器、ベネトギャラリー（幕末から明治の古写真作品）、ハイネマンライブラリー（19世紀からの写真に関する写真集と書物でカメラの歴史を体系的に学べる）。
 - ・アポロ宇宙ミッションで実際に使用・帰還したカメラの展示もあり、実物を間近で見れます。
- 見どころ**・展示は時代やジャンルごとにゾーニングされ、初心者から上級者まで楽しめる構成。
- ・解説付き展示や歴史背景の説明が充実しており、技術の進化や写真文化の変遷が実感できます。
 - ・館内にはミュージアムショップも併設され、カメラ関連グッズや記念品の購入が可能です

第56回「写真好き」のための定例講演会

■日時：2026年3月27日（金）14:00～15:30

■会場：ヨドバシ フジサワ カメラミュージアム ※公式HPこちら➡ [Yodobashi Fujisawa Camera Museum](https://www.yodobashi.com/yodobashi-fujisawa-camera-museum/)

Xでのフォローはこちら➡ [http://x.com/yodo_museum](https://x.com/yodo_museum)

〒160-8486 東京都新宿区新宿5丁目3-1

・ヨドバシホールディングス本社ビル内2階（旧東京厚生年金会館跡）

・アクセス 東京メトロ丸の内線：新宿御苑前駅 より徒歩7分

東京メトロ丸の内線・副都心線：都営新宿線 新宿三丁目駅 より徒歩7分

・Mapを開く➡ <https://www.yodobashi.com/museum/>

■ヨドバシフジサワカメラミュージアム展示概要 総面積：1,000㎡

展示コーナー 展示数* 所蔵は各数倍強

01：ライカコーナー 300点

02：日本のカメラコーナー： 1000点

03：世界のカメラコーナー： 500点 [19世紀からのカメラ、ダゲレオタイプ銀板写真も展示]

04：ベネトギャラリー： 80点 [フェリーチェ・ベネト（1863-1884 日本滞在、幕末から明治の古写真作品、着色写真、写真術）]

05：ハイネマンライブラリー：2000点 [フランクハイネマン所蔵の19世紀からの写真に関する写真集と書物]

アポロ15号月面撮影カメラ： 1点 [アポロ15号が持ち帰った月面撮影カメラを落札した現物]

総計：4000点

■【プログラム】

13:50～ 集合・受付 ヨドバシホールディングス本社ビル内2階ミュージアム受付前

14:00～14:30 ヨドバシフジサワカメラミュージアムギャラリートーク（30分）

14:30～15:30 フリー鑑賞（60分）

■参加費 写真学会会員特別参加費：2,000円 一般入館料：3,000円

■参加資格：写真学会会員

■定員：30名

■参加申込専用サイト➡ <https://forms.gle/CFyEWBj2DZNa4BKb7> (Google Forms)

「参加申込」(Google Forms)*に記入・送信した後に「お支払いへ」お進みください。

※参加費支払「お支払いへ」ボタンからリンクする支払サイトで参加費をお支払い下さい。

クレジットカード、Apple PayまたはGoogle Payが利用できます。

※非会員の方：参加申込前に入会申込をすれば、会員扱いで参加が可能となります。

(入会申込は こちらから) ➡ <https://forms.gle/nYmhzmGfXZEsWaoG8>

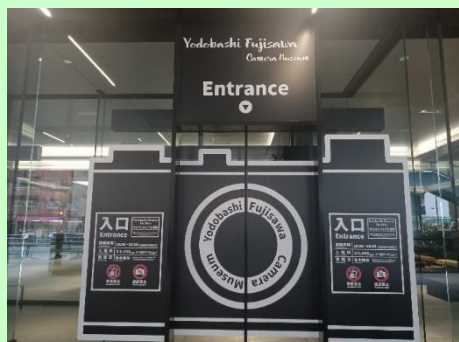
■申込締切：2026年3月20日（金）

【連絡先】日本写真学会「写真好き」のための定例講演会実行委員会

Tel: 03-3373-0724 E-mail: info@spij.jp



QRコード



ヨドバシホールディングス本社ビル正面



ヨドバシ フジサワ カメラミュージアム入り口エスカレーターで2F受付に

定例講演会実行委員会：実行委員長：小林裕幸（千葉大学名誉教授） 委員：鈴木博文（ニコンイメージング）
中野敬子（東京都写真美術館）、西垣仁美（日本大学）、松澤良紀（OMDS）、森田晃（NHK放送センター）
大木博、幹事：桑山哲郎（3Dフォーラム） 事務局：山岸治（日本写真学）